

夏季のVOC排出削減にご協力をお願いします！

夏場は気温が高く、とくに有機溶剤が蒸発しやすい時期です。

なぜ、VOC対策が必要なのか？

VOC(揮発性有機化合物 Volatile Organic Compounds)は有害な**光化学オキシダント**の主要な原因物質です。
光化学オキシダントが高濃度になると光化学スモッグが発生します。



●VOCの例

- トルエン…塗料やインキ
- トリクレン(トリクロロエチレン)
- 塩化メチレン(ジクロロメタン) } …金属や機器の洗浄溶剤

●VOCの特性

- 蒸発しやすい
- 大気中で窒素化合物(NOx)とともに太陽光を受けて、光化学オキシダントを生成。
- 浮遊粒子状物質(SPM)や、微小粒子状物質(PM2.5)を生成。

●光化学オキシダントの影響

- 健康への被害(目や喉への刺激など)
- 農作物への被害。

なぜ夏季の対策が重要なのか？

光化学スモッグ注意報[※]は、**夏季に多く発令**されます。

※光化学オキシダントが高濃度(0.12ppm)となり、その継続が見込まれる場合に発令



光化学オキシダントが高濃度になりやすい気象条件

- ① 最高気温が25℃以上
- ② 日照がある
- ③ 東京湾や相模湾から海風の進入がある・・・など

夏季(6月～9月)は
条件が揃いやすい

なぜ近隣都県市と連携した取組が必要なのか？

夏季の光化学オキシダントは、**広い範囲で高濃度**になります。

高濃度の光化学オキシダントが広い範囲で発生することから、東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県・横浜市・川崎市・さいたま市・千葉市・相模原市が夏季のVOC排出削減を共同で呼びかけています。

こまめなフタ閉め等、下記の基本的な対策により、事業者様のメリットもございます。今一度見直し、御協力よろしくお願いたします。

VOC削減メリット 1 ムダな蒸発を防いで

原材料費削減!

容器のフタを開放しているだけで溶剤は蒸発しています



フタをこまめに閉めましょう



洗浄槽のフタ閉め



←洗浄槽にフタをすると蒸発量が1/2~1/4程度まで減少。
(『東京都VOC対策ガイド(工場内編)』より)

フタ開放で8時間に60gの溶剤が蒸発。
→
(『日本印刷産業連合会 印刷産業におけるVOC排出抑制自主的取組推進マニュアル』より)



容器のフタ閉め

VOC削減メリット 2 においが減って

作業環境が改善

廃棄物容器の密閉

溶剤の染み込んだ廃棄物は常に密閉。
「VOC拡散防止のため必ずフタをすること」等の張り紙で周知徹底。



低VOC製品を選びましょう

【印刷】低VOC洗浄剤

GP資機材認定制度では、低VOC洗浄剤等環境に配慮した資機材を登録しています。



【塗装】ハイソリッド塗料

既存設備の大幅な変更をせず、VOC排出量を3~6割程度まで抑制できます。

【金属等脱脂洗浄】水系洗浄剤

めっき品質に必要な部品洗浄度の基準を見直し、水系洗浄剤へ代替することで、VOC排出量を5割以上抑制できます。

横浜市 環境創造局 環境保全部 大気・音環境課 大気担当

【住所】〒231-0016 横浜市中区真砂町2-22 関内中央ビル8F(87番窓口)

【電話】045-671-3843

【FAX】045-671-2809